

- 問1 7世紀から8世紀にかけての律令国家形成期の出来事について、天武天皇の事績として正しい記述はどれか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. 唐と新羅の連合軍に大敗した白村江の戦いを受けて、九州沿岸に防人や水城を配置して国防を強化した。
 2. 遣隋使を派遣して大陸の進んだ制度を学び、仏教を政治の柱とするために四天王寺や法隆寺を建立した。
 3. 飛鳥地方に都を戻して飛鳥浄御原宮で即位し、中央集権化のために「天皇」という称号や「日本」という国号を使い始めたとされる。
 4. 都を近江大津宮に遷し、日本最古の戸籍とされる庚午年籍を作成して、国民の把握に努めた。
- 問2 663年に朝鮮半島で起きた白村江の戦いにおいて、日本（倭）が唐・新羅の連合軍に敗北した後、国内で取られた国防対策の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 外国船の来航を制限するため、長崎の出島のみでオランダや中国との貿易を認めた
 2. 九州の大宰府付近に水城を築くとともに、防人を配置して大陸からの侵攻に備えた
 3. 蝦夷（えみし）の抵抗を抑えるために多賀城を築き、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じた
 4. 博多湾の沿岸に石築地（元寇防壁）を築き、集団戦法を用いる敵の侵入を防いだ
- 問3 舒明天皇や皇極天皇の流れを汲む天皇家において、中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌足が大化の改新を進めた後の時代に起きた「壬申の乱」の説明として正しいものはどれか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 唐・新羅の連合軍に敗北したことをきっかけに、国内の防衛体制を整えるために起きた争い。
 2. 後白河法皇の後継者問題をめぐり、源氏と平氏が対立して京都で発生した大規模な戦乱。
 3. 天智天皇の弟である大海人皇子が、天皇の息子である大友皇子を倒して実権を握った争い。
 4. 蘇我氏の独裁的な政治に不満を持った皇族たちが、宮中で蘇我入鹿を暗殺した事件。
- 問4 律令国家が戸籍を作成し、すべての人々に「口分田」を分け与える「班田収授の法」を実施した最大の目的は何ですか。当時の政治方針に深く関わる理由を説明したものを選んでください。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」の原則を確立し、税を確実に徴収するため。
 2. 農民の不満を解消するために、重い税の負担をなくして土地を自由に売買させるため。
 3. 大陸との戦争に備えるため、すべての土地を軍事基地として活用しやすくするため。
 4. 地方の豪族に土地の私有を認めることで、中央政府への忠誠心を高めさせるため。
- 問5 7世紀初めの日本において、聖徳太子らが「冠位十二階」を定めた背景には、天皇中心の政治を強化しようとする意図がありました。この制度の特徴について述べた文として、正しいものを一つ選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 役人が職務を行ううえで心構えを説いたもので、儒教や仏教の考え方が取り入れられた。
 2. 遣唐使として派遣された留学生の意見を取り入れ、全ての土地と人民を天皇のものとした。
 3. 個人の才能に応じて十二段階の冠を授けるもので、冠を授かった者一代限りの位とされた。
 4. 豪族の身分を固定化し、その子孫が代々高い地位を継承することを保障した。
- 問6 645年に始まった大化の改新では、天皇を中心とする新しい国家体制の構築が目指されました。この改革において、遣隋使や遣唐使として中国に渡り、大陸の進んだ政治制度や法律を学んで帰国した留学生や学問僧が任命された、政治の助言を行う重要な役職の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 執権
 2. 国博士
 3. 検非違使
 4. 防人
- 問7 日本の税の歴史をたどる資料において、その出発点として紹介されるのが701年に完成した「大宝律令」です。この法令によって定められた、都での労役の代わりに布を納める「庸」や、各地の特産物を納める「調」といった税制度について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 山口県公立入試 類似)
1. 「調」は、土地の面積に応じて全ての耕作者に一律で課せられる税であった
 2. 特産物などを都まで運ぶ負担は、税を納める農民自身が負うことになっていた
 3. 税を納めるために都へ向かう際の食料や旅費は、すべて国から支給されていた
 4. 「庸」は、収穫した稲の一定割合を地方の役所に納めるものであった
- 問8 飛鳥時代、聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した歴史的背景と目的の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 菅原道真の提言に基づき、形式的な外交を廃止して国内の政治改革に専念するため。
 2. 阿倍仲麻呂を隋の皇帝に紹介し、日本の律令制度が完成したことを報告するため。
 3. 大陸の進んだ制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇を中心とした政治制度を整えるため。
 4. 白村江の戦いでの敗北を受けて、唐や新羅の侵攻に備えた外交交渉を行うため。
- 問9 飛鳥時代に建立された豪族寺院について、その特徴を正しく述べたものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
1. 平安貴族が浄土への憧れから、寝殿造の様式を取り入れた華麗な庭園とともに建てた。
 2. 遣唐使によってもたらされた最新の禅宗を広めるため、幕府の全面的な支援を受けて建てた。
 3. 国ごとに国分寺と対になる形で設置され、女性の僧侶が修行する場所として建てた。
 4. 聖徳太子による仏教振興を背景に、豪族たちが勢力の大きさをアピールするために建てた。
- 問10 7世紀半ば、朝鮮半島の南西部に位置し、日本（倭）と親密な関係にあったものの、唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた国はどこか。日本はその復興を支援するために、663年に朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで大敗を喫することとなった。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 高句麗
 2. 百済
 3. 任那
 4. 新羅
- 問11 聖徳太子（厩戸皇子）が「十七条の憲法」を制定した背景には、当時の政治的な課題を解決する狙いがありました。この法令を通じて太子が実現しようとした「国家のあり方」として、最もふさわしい説明はどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 有力な豪族が個別に権力を持つのではなく、天皇の下に役人が結集する中央集権的な国家
 2. 海外の十字軍派遣の動きに合わせ、キリスト教を国教として受け入れる宗教的な国家
 3. 地方の農民に土地の私有権を認め、それぞれの生活を安定させることで成り立つ地方分権的な国家
 4. 国民の選挙によって選ばれた代表者が、議会で法律を決定する立憲民主主義的な国家
- 問12 7世紀の飛鳥時代、日本（倭）は百済の復興を支援するために朝鮮半島へ大軍を派遣しましたが、白村江の戦いにおいてある2つの国の連合軍に大敗しました。この時、日本が対戦した連合軍の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 隋と高句麗
 2. 宋と新羅
 3. 元と高麗
 4. 唐と新羅
- 問13 7世紀、日本では中大兄皇子らが政治改革を進める一方で、朝鮮半島の情勢変化に対応した外交が行われました。唐によって滅ぼされた友好国の復興を支援するために倭（日本）が朝鮮半島へ大軍を派遣した出来事について、その目的と対戦相手の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 高句麗の再興を支援するため、唐・新羅の連合軍と戦った
 2. 新羅の領土拡大を阻止するため、唐の軍隊と単独で戦った
 3. 百済の再興を支援するため、元（モンゴル）の軍隊と戦った
 4. 百済の再興を支援するため、唐・新羅の連合軍と戦った